

文部科学大臣賞

- 団体名 甲賀市立油日小学校（滋賀県）
- 企画名 「自分を大切に・人を大切に・物を大切に・自然を大切に」を合言葉にみんなで取り組むエコ・スクール活動
- 目的 2000年3月に学校ビオトープが完成して以来、全校でビオトープを核にした環境学習に取り組んできた。児童の願いを基にビオトープの改善をしたり、地元企業等と連携して薬の町甲賀にふさわしい活動を取り入れたりしている。児童がこのビオトープで油日の自然を満喫し、地域の良さを感じる1年になるように活動が続ける。
- 企画内容 油日小学校の各学年及び児童会（エコ委員会）が作るプログラムで、低学年はビオトープを使っての自然に触れる活動、3年生は、薬草調べやアイ染め体験を通して薬の町甲賀を実感し、町のよさを感じる活動、4年生は森林学習を通して甲賀の良さを感じる活動の導入、5年生はビオトープの生き物調べ、小さな生き物調べから稲刈りやびわ湖学習を通してよりよい環境を考える学習、6年生は、ムラサキの植え付けから卒業制作への見通しを持つ活動をする。また、児童会は、自然に触れ楽しむ機会を増やす活動をする。年間を通しての活動だが、そのうち、6月から10月23日までの活動を報告する。
- 実施期間 2020年6月1日～10月23日（実際は3月まで続く）
- 実施場所 油日小学校ビオトープ周辺及び関連施設



■ 企画の特徴

- ①学級エコ宣言……新型コロナウイルス感染症予防のための休校が開けた6月、新しい学級で自分たちが少し頑張ればできそうなことを学級エコ宣言として設定し、学級ではこのエコ宣言をもとに活動を進めた。
- ②生活科・総合的な学習の時間に行う活動……1、2年生は生活科の学習でビオトープをたんけんしたり、季節の変化を感じる学習をしたりした。3年生は、地域産業の薬業から「薬草博士になろう」と、6月2日に地元シオノギ製薬株式会社油日植物園の協力を得てアイの植え付けをし、9月に育てたアイを刈り取ってアイ染め体験をした。また、高校の先生をゲストティーチャーにむかえ、薬草について学習したり薬草ビンゴをしたりして薬草に慣れ親しんだ。4年生は10月29日のやまのこ学習に向け、校庭でお気に入りの木を見つけ身体測定をしたり用途などを詳しく調べたりした。5年生は、ビオトープの池に住む生き物を増やすためにできることはないかと考え、生き物調査をしたり地域の池の水やびわ湖の水と比べたりして生き物が住みやすい水について考える学習をした。6年生は、万葉集で歌われているムラサキを6月に植え、育てた。12月に紫根染めをして1月から染めた布を使い卒業記念として家族へのプレゼントを作る活動をしている。



- ③エコ委員会が行う活動……6月から「クリの赤ちゃんを見つけよう」「トンボを見つけよう」「秋の虫を見つけてオスメスをみわけよう」など季節にあった自然観察会を催し、全校が自然に触れる機会が増えるように呼びかけたり、イベントを催したりした。